

学年  
通信

# 魂知輪

令和6年11月8日  
第29号  
小代中学校3年生  
発行者:梅谷俊平

## 入試モードのスイッチオン

2学期の期末懇談まで1ヶ月あまり。遠い先のことだと思っていた進路決定に向けた動きがいよいよ本格的に始まっています。あまり、実感がない人がいるかもしれませんが、もう勝負は始まっています。先日の文化祭は本当に短い時間で仕上げました。持っている力をすべて出し切ったと思います。本当に色々な人に感動を与えたと思います。進路について、当たり前ですが、1週間で何とかなるわけがありません。ということで、早速始動していきたいと思います。そして、指導もしていきたいと思います。

1つ目。放課後の使い方。完全下校の時間までは、学校に残って学習をしても構いません。家に帰ってもなかなか机に向かえない人や、分からないことがあった時に先生に質問したい人にとっては、利用を促したいと思います。

2つ目。あしあとをきちんと書きましょう。自分が目指している高校の受験科目をきちんと把握していますか？小論文を書く必要がある人がいます。あしあとを読んでいて、普段はそこまでしてきませんでした。内容、量、字、出す頻度に関して、レベルアップをしなければ、勝負の土俵に立てません。「自分は小論文が無いからいいや！」ではなく、文章を書く力はこれから生きていくうえで必要不可欠な力です。塵も積もれば山となる、といいますが、しっかりと書いてください。

3つ目。12月16日に懇談があります。(来週に案内が出ます)その時に、自分の口で、なぜ自分がその高校に進学したいのかということが説明できるようにしておいてください。また、進路について、確認しなければいけないことや、事前に課題を配付して添削をすることを繰り返していく人が出てきます。その上で、進路先を再考する必要が出てくるかもしれません。

自分の進路は自分で、責任を持って。ただ、全てを自分で背負い込むのは大変です。ですから、親が背中を押してくれ、先生がアドバイスをします。色々な人に助けをもらいながら、自分の進路を確立していくということを、頭の中にしっかりと入れておいてください。

そして、来週、実力テストですよ。「次頑張る」の「次」がもうほとんどない状態です。今回頑張ってください。そして結果を出してください。その後、もう一度、面談をしましょう。

## It's Show Time 大成功!



## It's Show Time



文化祭、オープンスクールにたくさんの保護者の皆様に足を運んでいただき、見ていただきました。温かい拍手や、心温まる感想用紙を見せていただき、「やってよかった!」と思えることの連続でした。後は、進路実現と卒業式です。最後まで、子どもたちの背中を力強く押してやってください。よろしくお願いします。